

当院では、下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。

受付番号 【 22-I-07-04 】

研究課題名	進行非小細胞肺癌患者の大腰筋面積測定におけるランドマークの違いが予後予測に与える影響
当院の研究責任者 (所属)	氏名 伊藤真也 所属 リハビリテーション技術課
本研究の目的 (概要)	第3腰椎高位の大腰筋横断面積は臨床で測定しやすい骨格筋量評価である一方で、同じ椎体レベルでも先行研究毎で測定時のランドマークが異なり、統一した方法で報告がされていない。本研究は、進行非小細胞肺癌患者のランドマークによる大腰筋横断面積の違いと予後予測に与える影響を明らかにすることを目的とする。
調査データの該当期間	2016年8月1日～2022年3月31日
研究の方法 (使用する情報等)	当院で2016年8月～2021年2月までにstageIVの非小細胞肺癌患者に対し初回化学療法を行ったECOG PS 0～1の患者を対象とする。年齢、性別、BMI、併存疾患、血液データ、がんの組織型、治療内容等の患者背景因子に加え、骨格筋量、全生存期間(overall survival: OS)を評価項目とする。情報は電子カルテから収集し、骨格筋量は第3腰椎のCT画像から測定する。第3腰椎の横突起と尾側端のそれぞれで大腰筋横断面積をトレースし測定する。各ランドマークでの大腰筋横断面積を比較後、既存のカットオフ値(男性:6.36cm ² /m ² 、女性:3.92cm ² /m ²)を基準に各ランドマークにおいて正常群と低骨格筋量群に群分けしOSを比較し異なる所見がみられるか調査する。
試料/他研究機関への提供及び提供方法	なし
個人情報の取り扱い	取得したデータや個人情報は研究以外には使用せず匿名化し保管する。データはパスワードをかけ研究責任者、共同研究者のみしか閲覧できないように保存する。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	【研究担当者】氏名 伊藤 真也 リハビリテーション技術課 佐賀県唐津市和多田 2430 TEL (0955) 72-5111 FAX (0955) 73-9530
備考	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。